

第4次男女共同参画プラン（素案）に係る パブリックコメント手続の意見取扱結果

- 1 意見募集期間 令和4年12月26日（月）から令和5年1月24日（火）まで
- 2 意見提出者数 3人
- 3 提出意見数 4件

4 プラン（素案）の修正

パブリックコメント手続の実施結果による、プラン（素案）の修正はありません。
いただいたご意見につきましては、今後、本プランを推進していく上での参考とさせていただきます。

なお、いただいたご意見に対する市の考え方は、別紙のとおりです。

提出された意見の概要と市の考え方

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>女性も男性も関係なく、誰もが自分の考えや意見をもっている。それを互いに認め合い、職場や地域で対等に意見を出し合い、活躍していくことが重要だ。職場、地域、家庭などあらゆる場における、一人ひとりの意識改革が必要だ。</p>	<p>ご指摘のとおり、性別等にかかわらず、互いに認め合い、誰もが職場や地域で対等に意見を出し合い、活躍していくことは重要であると考えております。</p> <p>本プランでは、基本目標1「男女共同参画の視点に立った意識啓発」と位置づけ、市民一人ひとりが、男女共同参画を自分のこととして認識し、男女共同参画社会の実現に向けて協力し合い取り組めるよう、男女双方の意識改革を促進するとともに、年代やライフステージに応じた実効性のある取組を実施し、行動変革へとつなげてまいります。</p>
2	<p>「夫は仕事、妻は家事・育児」など性別による役割分担を、家庭から見直していく必要がある。子どもの頃から男女平等について教育を進めるべきだ。学校での教育も大切だが、家庭での教育が大切だ。それには、もっと男女共同参画について啓発していくべきだ。</p>	<p>誰もが性別にとらわれず、互いに尊重し合い、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会を実現するためには、子どもの頃から多様性を認め合う意識を育てていくことが重要であると考えております。</p> <p>本プランでは、基本目標2「男女共同参画を推進する教育・学習の充実」と位置づけ、子どもの頃から性別による固定的な役割分担にとらわれない意識や多様性を認め合う意識が育まれるよう、学校・家庭・地域のあらゆる場において教育・学習機会を提供してまいります。</p>
3	<p>プランを作っただけでは、市民の男女共同参画への理解は深まらない。まずは、市役所内において、男女共同参画について取り組んでいくことも大切だと思う。</p>	<p>男女共同参画の推進に係る施策は広範囲にわたるため、全庁的な課題として捉え推進していく必要があります。そのため、市長を本部長とした推進体制である「徳島市男女共同参画推進本部」を中心とし、横断的な検討・調整を行うなど、施策の推進に向けて全庁的な取組を図ります。</p>
4	<p>仕事と育児の両立において、保育所(園)の待機児童数は、期初だけでなく期末まで毎月把握し、待機児童数を毎月ゼロにすることを、学童保育については、学校ごとの学童待機児童数を把握しゼロにするなどの具体的な数値目標を設定してほしい。</p>	<p>保育所(園)の待機児童数は、国の方針に基づき全国一律で4月1日を基準日とし算出する唯一の公表値としており、本市といたしましては、保育ニーズへの対応として、毎月の空き情報を把握し、待機児童が発生しないよう年間をとおして利用希望者に寄り添った利用調整に努めているところでございます。</p> <p>また、学童保育については、学童保育クラブの運営が各地域の運営委員会などが地域の待機児童も含めた状況を考慮しながら創設・拡大を行っており、今後におきましても運営委員会と連携を密にしながら進めていきたいと考えております。</p> <p>なお、本年度は、津田・昭和校区の施設整備や、佐古校区のクラブ増設などによる定員数の拡大を図っており、今後も各運営委員会と連携を図りながら取り組んでまいります。</p>